

◎7月2日(日)開催 第2987回例会
単独例会/平成29年度・ヒヨコの夏山トレーニング「行者尾根(摩耶アルプス)から地藏谷へ」
布引支部 T.K

梅雨前線が日本海側の西から東へと長く伸び、太平洋側から湿った空気が流れ込んだ蒸し暑い典型的な梅雨日和です。夏山のトレーニングに相応しい日和?・・と諦めて、参加致しました。今日は兵庫県知事選の投票日。まずは投票に・・と、登山スタイルで会場へ。早朝からお世話をされている選管役の皆さん、ご苦労様でした!今日の集合場所は阪急王子公園駅東改札口のすぐ山側。新しく会員になられた方が多く参加されておられ、気持ちが若返った様な感じでした。



王子児童館前の公園で準備体操をする

行者堂跡地までの青谷道は、川のせせらぎ音を耳にしながら進むので気分的に気持ちが良いのですが、行者尾根への取付点からは余裕などありません!岩場をトラバースし、急勾配の尾根筋を必死で攀じ登ります。若い新人会員は初参加でも楽しんでいる様子!そのパワー少し分けてほしいな~と思うのは私だけではないようですね!



必死で登っている昔の乙女隊?で~す!

それにしてもこんなところによくぞまあ~登山道?を付けたものだと感心します!



余裕で岩場を楽しむKさん

吉野会長のお話ですと、30代の頃・・(と言うことは40年も前?)・・に当時ご一緒されておられたNさんと言われる方と、この尾根を始めて登られたとのこと。当時はもちろん今のように登り易い開けた感じではなく獣道のようなそうです。「行者尾根」の名付けは入口や谷の奥に行者堂や打たせ水行場などがあった為、いつの間にか二人で「行者尾根」と呼ぶようになり、その後、その名が一般的に知られるようになったようです。近年ここを「通称・摩耶アルプス」と名付け親しまれるようになっていますが、急峻なので下る場合は充分にご注意を!とのことでした。



行者尾根中央地点よりピークをバックのヤングG

六甲山地・摩耶山地は、阪神間の交通網の何処からでも僅か30分程度で登山の起点に立つことが出来ます。私たち神戸っ子(熟女)?は幸せだな~と何時も思います。特に今日は、いきなりアルプスに入った様な気分になり、楽しさが疲れを飛ばしてくれた感が有りました。



行者尾根と縦走路の出合でホッと一息・・・！

尾根の中間地点から行く先を望むと、木が沢山生えている槍ヶ岳？の様な急峻な山容（ピーク）が目に入ります。え～未だあの先まで登るの？
・・・そこからは足元だけを見ながら、只ひたすら登るのみ！・・・縦走路の出合へ出た時は、1週間分ぐらいの汗が出た様感じました。
いただいた地形図で確認すると、青谷本道から約 300 メートルの標高を一気に登ったことになります！（シンド～イ！はずですよ。）



地蔵谷道に咲いていた清楚なヤマアジサイ

トレーニングの後半（下山）は、老婆谷の出合から地蔵谷經由市ヶ原へ。谷筋の水と、森林浴の出来る自然の木々に癒されるコースを計画して下さった例会役員さんに感謝しながら楽しく下ることが出来ました。

因みに、この日の神戸の最高気温は 32.4℃でした。

皆さま、お疲れさまでした！！

天 候 晴れ

参加者 38名 内 会員 36名